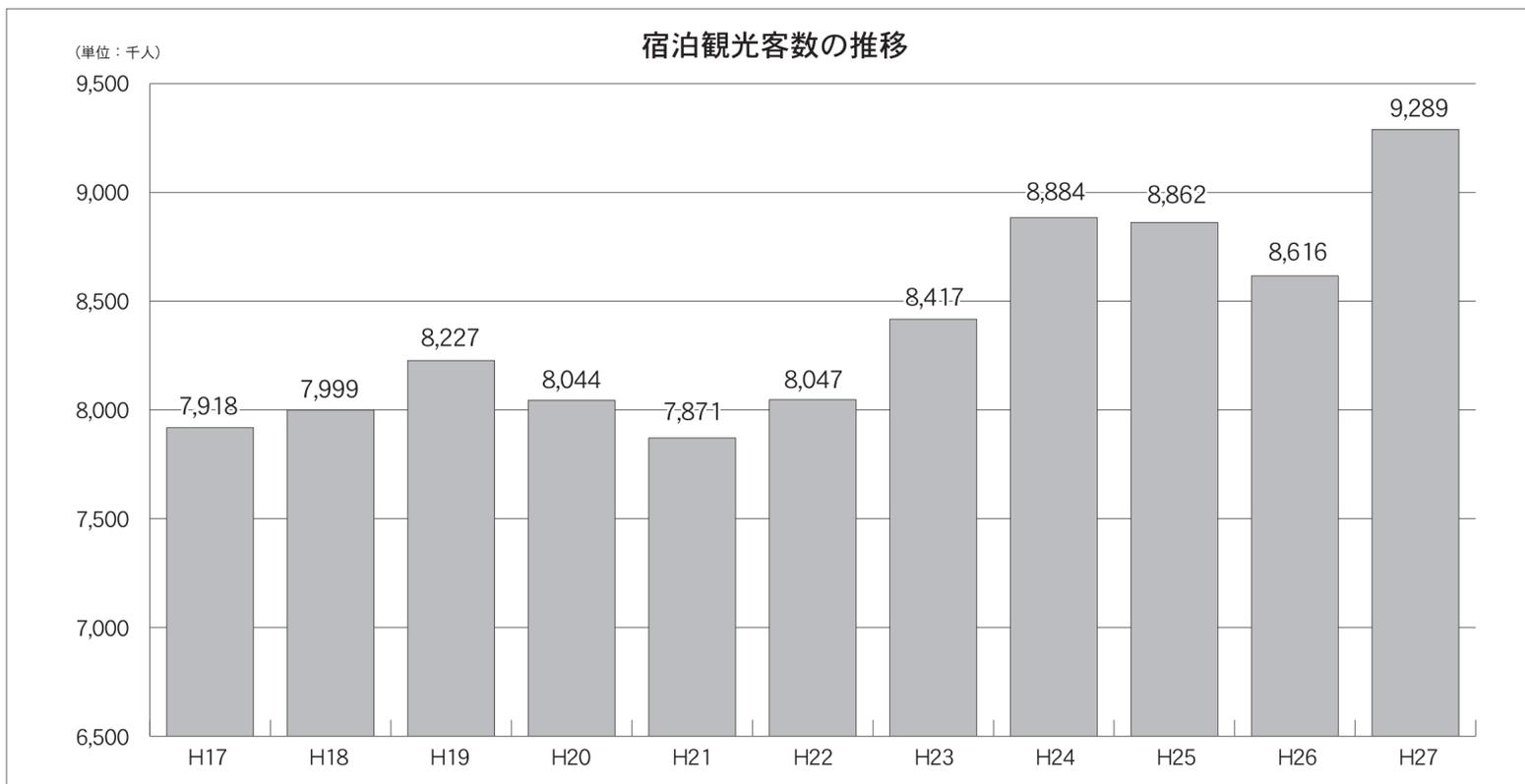
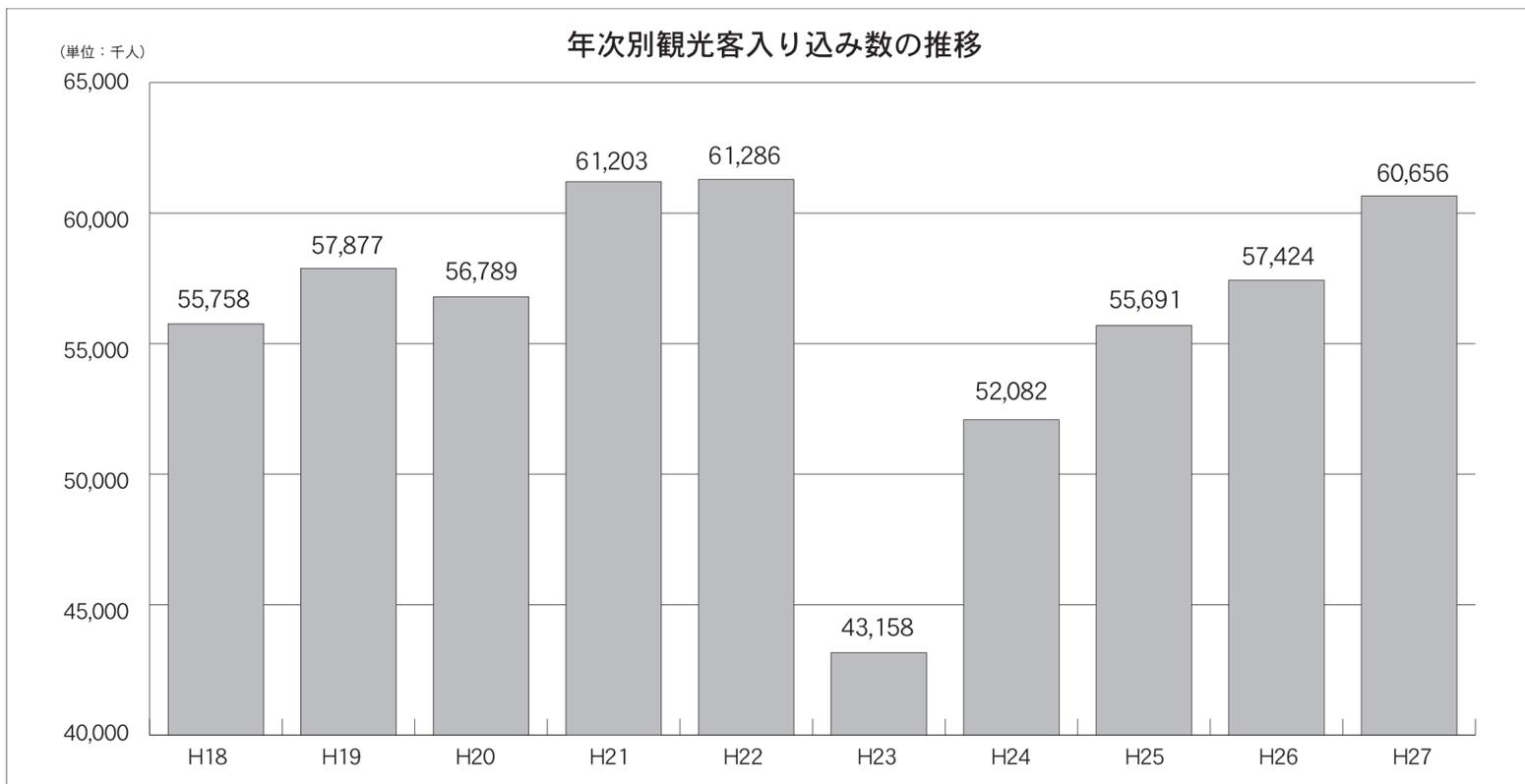


観光客入り込み数、前年比5.6%増加

平成27年 宮城県の観光統計概要 (県経済商工観光部 観光課まとめ)

宿泊観光客数は7.8%増、旅行割引など奏功

調査データ



平成27年宿泊観光客数 (単位:人)

圏域	地区	平成27年	平成26年	前年比 (H27/H26)	増減数 (H27-H26)
仙南	蔵王	547,504	586,654	93.3%	△39,150
	阿武隈溪谷	12,186	12,079	100.9%	107
	その他の地域	70,547	67,002	105.3%	3,545
小計		630,237	665,735	94.7%	△35,498
仙台	旧仙台市	4,359,494	3,855,852	113.1%	503,642
	松島	698,339	667,624	104.6%	30,715
	二口溪谷	1,133,070	1,125,946	100.6%	7,124
	船形連峰	352,663	313,737	112.4%	38,926
その他の地域		504,791	420,320	120.1%	84,471
小計		7,048,357	6,383,479	110.4%	664,878
大崎	鳴子温泉郷	496,500	547,800	90.6%	△51,300
	葉山	26,514	27,008	98.2%	△494
	その他の地域	321,697	303,971	105.8%	17,726
小計		844,711	878,779	96.1%	△34,068
栗原	全域	110,587	110,820	99.8%	△233
登米	全域	78,280	52,310	149.6%	25,970
石巻	全域	220,326	184,459	119.4%	35,867
気仙沼	気仙沼・唐桑半島	155,905	141,739	110.0%	14,166
	南三陸海岸	200,192	198,549	100.8%	1,643
	小計	356,097	340,288	104.6%	15,809
合計		9,288,595	8,615,870	107.8%	672,725

震災から着実に回復も 沿岸部は7割にとどまる

宮城県経済商工観光部観光課がこのほど公表した平成27年観光統計概要によると、同年(1~12月)の県内観光客入り込み数は6066万人で、前年比で323万人、5.6%の増加となった。23年の東日本大震災以降、着実に回復を続け、震災前の22年比でも9割以上の回復となった。ただ、沿岸部では約7割の回復にとどまり、内陸部との格差がみられる。

県ではイベントの開催期間が長く設定されたこと、新規観光施設のオープン、新規イベントの開催、各種観光施策による誘

客効果、観光集客施設の再開などを入り込み増の要因に挙げている。

一方、宿泊観光客数は929万人で、前年比67万人、7.8%増加した。大型コンサートや第3回国連防災世界会議の開催、観光王国みやぎ旅行割引の実施などが奏功したとみられる。

圏域別では、仙南圏域が蔵王山の火口周辺警報の影響があり、前年比5.3%減少。石巻圏域、気仙沼圏域はそれぞれ19.4%、4.6%増加した。